

平成 29 年度 第 2 回霧島市食育推進検討委員会 会議要旨

| | | | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----|
| 開催日時 | 平成 29 年 10 月 26 日（木） 14:00～15:30 | | |
| 開催場所 | 国分庁舎 議会棟 3 階 全員協議会室 | | |
| 出席委員 | 原園委員長、潟山委員、松木委員、川野委員、濱田委員、山田委員 外山委員、藤谷委員、有村委員、安留委員、隈元委員 | | |
| 事務局 | 健康増進課：林課長、吉村健康づくり推進室長、中村グループ長、 上小園サブリーダー、濱崎主査、松下主任主事、溝口主査 学校給食課：石神課長、中村主幹 農政畜産課：市来主査、山下主事 すこやか保健センター：島木副所長、東郷主査、徳重主任技師 | | |
| 公開・一部非公開又は非公開の別 | 公開 | 傍聴人数 | 0 人 |
| <p>議事</p> <p>(1) 健康きりしま 21（第 3 次）「栄養・食生活・食育の推進」の計画素案について (2) その他</p> | | | |
| <p>協議結果等の概要 議：議長 委：委員 事：事務局</p> <p>(1) 健康きりしま 21（第 3 次）「栄養・食生活・食育の推進」の計画素案について ⇒ 事務局が資料に沿って説明。委員からの主な質問は次のとおり。</p> <p>議： 資料の 1 ページから 3 ページについてご質問はあるか。 特に質疑なし</p> <p>議： 資料の 18 ページから 20 ページについて霧島市の目指す姿及び目標関係が記載されており、20 ページの栄養・食生活・食育の分野について 30 ページから説明が記載されている。18 ページから 20 ページについて質問があるか。 特に質疑なし</p> <p>議： 資料の 30 ページ以降について委員の方から質問等あるか。 資料 31 ページの個別目標に記載されているページ番号について誤記載ではないか。</p> <p>事： 資料 31 ページの個別目標に記載されている 31 ページの表記は 32 ページの誤りで 33 ページは 34 ページの誤りである。訂正する。また 30 ページの現状と課題の 6 行目に成年男性と記載してあるが成人男性の誤りである。また 75・78 ページについては別途資料と差替える。</p> <p>議： 資料の 32 ページから 33 ページについて、特に 33 ページの市の取組について各委員から質問はないか。学校関係という事で何かないか。</p> <p>委： 学校では市が作成した食育に関するパンフレット等を活用して学校保健会等で早寝早起朝ごはんの指導等をしている。</p> <p>議： 市の取組については資料記載のとおりで良いか。 委： 良い。 議： 市 PTA 連絡協議会からの立場から何かないか。 委： 4、5 月頃学校側から早寝早起朝ごはんについて子供達に目標を立てさせるが、早寝早起朝ごはんは家族で出来るが早寝は難しい子供達が多い。</p> | | | |

いつも PTA 等で保護者達とこの話題になる。習い事や部活をしていたりして早寝とは何時に寝たら早寝なのかという話に常になる。市の取組として挙げられているが保護者はどのような事に注意していけば良いのか。具体的にテレビやパソコンを見ない日を決める等あれば良いが難しい問題である。

議： 難しい問題であるが事務局はいかがか。

事： 貴重なご意見である。家庭の事情は様々であり、市としてどのように取り組むかは協議を深めていかなければならないと思う。質の良い睡眠をとるための工夫のあり方、例えば寝る前の1時間はテレビ等のブルーライトを浴びないようにしましょうとか、早目に食事をとるとか、家庭の中でも努力出来る範囲内での工夫の仕方といったものがあるが、普及のあり方についてはもう少し事務局としてもどの様に普及していくのか、小学校も6年間あり様々なライフステージがあるのでひとくくりでない考え方を掘り下げていく必要がある。

もう少し具体性を持って取り組んでいこうと考える。計画はこのような形で載せるが具体論はもう少しそれぞれに合わせた形を考え進めていこうと考える。

委： 事務局からの返事を頂いたので学校でも話をしようと思う。

議： 質の良い睡眠とか明記する予定か。

事： 出前講座で学校保健委員会等の保護者を対象にして要望があった時は出向いているが、医学的な根拠、なぜ効果があるのかを理解出来るような周知の仕方をする必要があり、お伝えできる機会がある時には盛り込んでいく必要がある。5年間でパンフレットを作成する時はこれらのことを盛り込んだパンフレット作成を心がけていく必要があると考える。

議： 次世代について他に質問はないか。

委： 出前講座は学校から要請があったら行くのか。

事： 要請があったら出向くが、市にも管理栄養士は健康増進課とすこやか保健センターの2名しかいない。しかし広く周知を図る必要があるので学校と連携をとって給食だよりに盛り込む等の効率の良いやり方で周知していけたらと考えている。

委： 単発であちこち出向くよりも学校の保健の時間等を利用して毎年5年生等を対象にして、保健師でも良いと思うので是非学校と連携をとって実現して欲しい。

委： その通りだと思う。

議： 事務局のほうでもご検討をお願いします。

事： 仕組みづくりなどをまた協議していきたいと思う。

議： 全世代について3項目あるが他に質問はないか。

栄養士会の立場から何かないか。

委： きりしま版バランスガイドを作成されているのでそれを使いながら日本型食生活の普及啓発をしていこうと思いますが、記載されているのがまとまっていると思うので、これで動かれたら良いと思う。

時間遺伝子についてノーベル賞受賞者がいたが、これらの事も早寝早起き朝ご飯とセットで文言に盛り込めれば分かり易くつながっていくと思う。どの時間帯にどういふ食べ方をしたら良いのかというのと早寝早起き朝ご飯が密接に関係があるので時間遺伝子的な時間栄養学も含められたらと思う。この素案は良くまとまっているのでこのままで良いと思う。

議： 企業の立場から何かないか。

委： この内容で良いと思う。企業の側でも普及啓発でパンフレットを置いたり定期的に健

康フェア等で食生活を見直す取組をしているが、市でつくっているものを活用し、一緒になって取り組めればもっと普及していくと思う。

議： 次は高齢期についてですがフレイル予防について1ページの下欄へ説明があるが、このことについて何か質問はないか。

委： フレイル予防についての説明が33ページに欲しい。またBMIについての説明もあるが、どのくらいであれば適切なものが74ページに載っており、33ページのBMIの説明のところにある方が良い。

事： BMIの目標値も入れていきたいと思います。子供の肥満度の計算式も表記を検討する。フレイル説明についても身体のところだけでなく栄養のところにも表記を検討する。

委： 32ページ及び34ページについて目標値が出されているが増加とか減小とか抽象的な表現ですが県や国はほとんど数字が出ている。これは何か理由があるのか。検討の余地があれば数値を決めた方が良い。

事： 今後、他の分野との整合性を含め検討する。

議： 33ページの次世代、全世代、高齢期で気になるところがあれば質問をお願いします。無ければ34ページ個別目標の農・育及び35ページ市の取組について検討していきたい。次世代という事だが学校関係で何かあるか。

委： 学校と連携した食育の推進というのは先ほどの出前講座を含めているととらえて良いのか。農なので地場産物的なところなのか。それを取組むうえでの出前講座であるのか。

事： 地場産物の積極的利用については学校給食側で進めて欲しいと考える。

委： 34ページの学校給食における地場産物の使用割合について数字を見て、とてもがっかりした。平成23年は75.5パーセントあったのが59.7パーセントになっていて急に落ちている。平成28年の県の平均は66.1パーセントで県の平均より低い。これに関し学校教育や農政関係はどういう努力をしたのか教えて欲しい。

事： 学校給食の地場産物の利用割合については毎年6月と1月に1週間ずつ使ったものをあげて平均値を出す。牧園地区担当であるが落ちた原因は1回目の時は地場産物があったが、2回目の1月の時は献立にもよるが地元でとれるものが無く県内産に切り替えたり、使った時の献立によって地元から採れなかったその時期に季節がずれていた。時に直接農家から買えなかったという事と、給食の場合は1ヶ月先に発注していくが大量のものを農家の方が確保出来ないという事があった。それと生産者が高齢化されており、成長具合もあり大量に工面する事が難しいということで農家から断られたりした事がありました。まとまった農産物が入らなかったと分析している。

委： 1月は食材が無いとの事でしたが6月よりは1月のほうが食材は沢山ある。冬野菜は沢山あるので無いということは有り得ない。学校に納入されないのが問題であれば、JAとか市の農林水産課等と一緒に学校へ納入する体制をつくらなければいけない。落ちたというのがおかしいわけであって行政で組織をつくれれば集めて学校へ納入するということが出来る。肝属町がそういう体制をつくっているの、そういうところへ訊いて下さい。子供達に地場産物を食べさせないというのはおかしいと思います。地場産物を積極的に購入している市民の割合が75.5パーセントあり、保護者達はそういう心がけをしているのに学校では実践出来ていない事はおかしい。そういう組織をつくって欲しい。

- 議**： 基準値が減らないような組織・体制づくりをして欲しいとの意見がでましたのでお願いしたい。
- 事**： 市としては健康増進課だけでなく学校給食課、農政畜産課の3課で食育に取り組んでおり今後協議を深めて良い体制づくりに努めてまいりたいと考えている。
- 議**： 働く世代について5項目ありますがご意見等願います。
- 委**： 要望になるかも知れないが郷土料理や食事マナーについて学校でも話す機会があり、先輩おかあさんは公民会の蒸し器を使ったりして膨れ菓子等をつくれたりする。公民館講座とかでもあるが定員が5名だったりして少なく仕事の都合等で行けない。もっとここに掲げるのであれば30代40代のおかあさん世代が行ける様な日程で実施してもらえたら有り難い。イベントには行きたいと思うが行きたい世代が行けない事が多いのでアンケートをとったりして3日間位実施してもらえればいろんな人が郷土料理に触れたりお婆ちゃんとか先輩おかあさんに訊けたりする。がねや膨れ菓子をつくれたりするのを引き継いでいきたい。市でするのであれば先輩おかあさんに学びたいという気持ちがある。是非そういう会をして頂けたらと思う。
- 委**： 私達は食生活改善推進員ですが家庭料理学級等を年間行事に組んで頂ければ喜んで活動する。
- 委**： 家庭教育学級は小学1年生だけである。
- 委**： 霧島の中学校には家庭教育学級でよばれて12月頃に正月料理等つくっている。よばれたら行くが学校のPTAでそういうものを組めるのではないか。
- 議**： 家庭料理学級は1年生だけのところもあるが全学年が対象のところもある。
- 委**： 是非きて頂きたい。
- 委**： 県食育シニアアドバイザーをしており直接皆さんに料理を教えてあげられなかったが食生活改善推進員の講座を受けて今年度から推進員になった。是非声をかけてほしい。
- 委**： どこに依頼したら良いのか分からない。市からこの方をお願い出来ますよといった一覧表等をだしてもらえたら有り難い。家庭教育学級は様々あるが郷土料理等でスペシャリストがいれば紹介してもらえれば活用する。
- 議**： 次世代、働く世代で男性からの意見として何かあるか。
- 委**： JAでは子供達を対象に年間7回、小学校3年から6年まで20名ですが田植え稲刈りやぶどうの食べ比べとか9年間実施している。働く世代としては「ちゃぐりんスクール」の父兄もオープン参加しても良いですよとしている。大人も食・農に対する認識が高まり自宅で親子で話しを出来る機会があるので良い。JA内には女性部があり膨れ菓子、みそ作りがあるがお母さん世代が入りやすい雰囲気をつくろうとしている。市と協議をしていて今後いろいろ実施していく必要がある。なおAコープに魚の専門家がおり小学校で魚のさばき方を披露するなどの取り組みもしている。
- 議**： JAさんも沢山動いているとのことで今後市と連携を深めて頂ければ有り難い。園芸の立場からは何かないか。
- 委**： 次世代の地場産物がなかなか揃わないとの事でしたが1月は野菜はあるが5、6月は雨時期で中々野菜が育たないため揃わないので難しい問題だと思っている。しかし地域によってはトマト、ニンジンが沢山あったりするといった情報をつかみながらやっていければ地産地消の意味でも良いのではないかと思う。
- 議**： 33ページから35ページを通して何かありましたら願います。委員から沢山の

意見を頂いた。事務局のほうでまとめるのは大変でしょうがよろしくお願ひします。
協議 2 のその他について事務局から何かありますか。

(2) その他について

事： 事務局からは特にありません。

議： 今日の意見を参考に事務局が動いてくれると思う。委員の皆さま有難うございました。

事： 先ほど質問に対し 1 月と 6 月を反対に言っておりました。訂正させて下さい。

以上、その後、意見・質問なしのため、協議終了。

| | |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会議資料 | <p>【配布資料】</p> <ul style="list-style-type: none">○会次第○平成 29 年度霧島市食育推進検討委員会委員名簿○霧島市健康・生きがいづくり推進における各種委員会の設置に関する要綱○計画策定の背景と趣旨、位置づけ、計画期間○霧島市の健康を取り巻く現状○霧島市の目指す姿○分野別の目標及び取組○分野別の指標と取組（栄養・食生活・食育の推進）○資料編○平成 28 年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査用語解説と説明資料 |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

